

国語学習プリント1

虹の足

吉野 弘

二年 組 氏名

☆『虹の足』を三回音読した後で、次の課題に取り組もう。

一、詩の数え方は？

- ※参考・・・人間は○人 動物は○匹 木・草は○本 箸は○膳 ご飯は○杯 船は○艘(そう) 人形・ハンターは○体 階段は○段 マンガは○巻

二、この詩には、比喩表現と倒置法が使われています。それを探して書き出してみよう。

※比喩表現とは・・・似ている物に例えたり、置き換えたりすることで、イメージを高めたりふくらませたりする表現技法。

比喩表現には、「直喩」「隠喩」「擬人法」の三つがある。

①直喩・・・みたいな まるでのような という言葉がある表現。

(例)君はまるで太陽のようだ

②隠喩・・・まるで のような みたいな の言葉が省略されている表現。

(例)君の笑顔は、ひまわりの花。

③擬人法・・・人ではないものを人の動作などにたとえた表現。

(例)冬がかけ足でやってくる。

比喩表現(直喩・隠喩・擬人法) ・虹の足 ・乾麺みたいに ・虹がそつと足を下した ・野図にすらりと足を置いて ・虹のアーチ・・・すつくと空に立った ・すっぽり抱かれて・・・ ・虹の足に・・・	たとえているもの ・虹の背の部分 ・地上に刺さった陽射し ・虹 ・虹 ・虹のアーチ ・虹のアーチ ・虹のアーチ ・虹のアーチの下部分
--	--

※倒置法とは・・・語順を変えて印象づける表現。

(例)君は立ち去った、さびしく笑いながら。

倒置法 ・見たのだ、虹の足を ・そんなこともあるのだろうか ・他人には見えて・・・ ・生きていることが	強調されていること ・虹を見た時の感動 ・自分ではわからないが、幸福に生きていくこと
---	--

国語学習プリント2

虹の足

吉野

弘

二年

組 氏名

☆『虹の足』を三回音読した後で、次の課題に取り組もう。

一、作者の感じ方、考え方について考えながら、詩を読んだ感想を書いてみよう！

略

二、「口の〇」（例：「春の訪れ」など）の形に題で自分の感性で詩を作ってみよう！

略

☆教科書 p 16 参照